

全国事業所協議会広島県地区研修セミナーが 開催されました

法人本部 事務局長 飯塚 聡

10月4日(木)に広島県育成会にて、全国事業所協議会広島県地区研修セミナーが行われ、ブロック委員として参加をしてきました。

セミナーの内容は、西日本豪雨被害の被害報告と現状報告、福祉避難所についての意見交換、全国連合会からの支援策についてでした。

まず、広島県と岡山県の事業所協議会から、被害報告と被災後の現状報告がありました。広島県内の事業所では、浸水被害や断水や道路が寸断される等の理由より休業措置を取った事業所が幾つかあったそうです。それよりも事業所本体より同一法人内のグループホームで、土砂の流入、床上浸水、断水、下水の逆流といった被害が多かったとの事でした。また、隣県の岡山県からの報告では、ニュースで大きく取り上げられていた倉敷市真備地区で、事業所に通所している利用者宅が被害を受けたとの事でした。また、福祉避難所に指定されていたものの、一次避難所との棲み分けが上手くいかなかったという報告もありました。

次に福祉避難所について、全国事業所協議会の各ブロック委員と広島県・岡山県の事業所協議会の情報交換がありました。近年では公設置の事業所が指定管理となり、公設置民営の状況が多くなってきています。表向きは公立事業所であるため、運営者の意向によらず必然的に福祉避難所の指定を受けている状況もあるようです。しかし、福祉避難所となった場合、市の指揮命令下に民間法人の支援員が組み込まれることとなります。事業所としては福祉避難所となっているため、通常の利用者の受け入れは出来ません。従って収入源である給付費が入ってきません。一方、支援員は労務提供をしているので賃金の支払い義務は生じます。また、危険な業務に従事することになった場合には、責任の所在がどこに属するかという課題もあります。これらの課題をクリアしないと協定も結びにくいということがあります。

最後は全国連合会の対応について、全国連合会の田中統括よりありました。現在、全国連合会では災害義援金の募集を全国の正会員育成会に向け案内をしており、被害を受けた会員には見舞金の支給を、正会員育成会には被害調査を行ったところに活動費の支給を検討しているという事でした。

今後は全国組織である事業所協議会という特徴を活かし、大規模災害が起こった時には被災地事業所に

被害が無かった地域から応援要員の派遣もできるような仕組み作りも検討していく必要があるとしてセミナーは終了しました。



事業所さん紹介(3)

就労移行支援・就労継続支援B型 パンブー

◆事業所の紹介・特長

大阪市平野区にある就労移行支援・就労継続支援B型の多機能型事業所です。おかげさまで、パンブーは今年の12月1日でもる10年を迎えます。

パンブーでは開所以来、事業所内での軽作業と事業所を出ての清掃や除草といった2つの取り組みを軸に、段階を経てスキルアップし就職できるよう日々支援活動を行っています。

また、利用者や就職者のみなさんが集まって、楽しく交流してもらえるよう、一年を通じ運動会や研修旅行などたくさんのイベントを計画しています。

生活介護「ふくしの家ジョワ」、共同生活援助「グループホーム夢」、移動支援「きずな」の3つの事業と併せ、生活面や余暇活動などの支援も行い、地域での暮らしが豊かで安心して送れるよう、わかたけ会スタッフ一同取り組んでいます。



◆支援員さんが大切にしていること(モットー)

楽しく通所してもらえそうな作業所づくり、また、利用者さんの声に耳を傾け、その時々利用者さんの思いに寄り添いながら、その人に合った支援が出来るように心がけています。

◆最近の楽しかったこと

わかたけ会は本年度、創立20周年を迎えます。